

第2号報告資料

令和6年度事業報告書

(令和6年2月1日から令和7年1月31日まで)

①会員の研究発表会、学術講演会等の開催（定款第4条第1号）

- ・第124回日本外科学会定期学術集会を開催し、会期後にWebでアーカイブ配信を行った。
- ・外科系サブスペシャルティ学会と「合同プログラム委員会」を開催した。
- ・「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」として、日本医学会連合研究倫理審査委員会の「学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を活用した。

②機関誌、論文図書等の刊行（定款第4条第2号）

- ・学会誌「日本外科学会雑誌」を奇数月に電子ジャーナルとして発行し、希望により配本した。
- ・日本外科学会雑誌の過去分のアーカイブ化を進めた。
- ・Official Journal「Surgery Today」を毎月電子ジャーナルとして発行した。
- ・Case Report誌「Surgical Case Reports」を毎月電子ジャーナルとして発行し、出版委託業者の変更に伴いリニューアルした。
- ・外科専門医予備試験の過去問題集を書籍化し、発刊した。

③内外の関係学術団体との連絡及び提携（定款第4条第3号）

- ・German Surgical Society (GSS), American College of Surgeons (ACS), Society of University Surgeons (SUS), College of Surgeons of East, Central and Southern Africa (COSECSA), The Association of Surgeons of India (ASI)などと持続可能な学術交流を行い、若手外科医の交換発表などを行った。
- ・新たに途上国からの研修・臨床の受け入れを検討した。
- ・Royal College of Surgeons England (RCS)とInternational Surgical Training Programme (ISTP)のPartner Institutionについて再協議した。
- ・日本医学会、日本医学会連合、日本医療機能評価機構、日本女性外科医会の活動に積極的に参画した。
- ・外科系18学会と外科関連学会協議会を組織して、外科系の横断的な諸問題を協働で検討した。

④外科学に関する研究及び調査（定款第4条第4号）

- ・標準手術ビデオを5本作成し、「標準手術シリーズ」としてビデオライブラリーに収載した。
- ・「外科臨床研究の利益相反に関する指針」の見直しを検討した。
- ・「外科学用語集」の改訂作業を行った。

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用（定款第4条第5号）

- ・日本専門医機構との業務契約の下、「外科領域専門研修プログラム」を審査し、専攻医の研

修登録を行い、専攻医の研修状況を管理すると共に、研修管理システムの追加改修を行った。

- ・日本専門医機構と協働して、専門医共通講習および外科領域講習を開催する（eラーニングを含む）と共に、関連学会が開催する専門医共通講習および外科領域講習について審査を行った。
- ・日本専門医機構と協議の上で、外科専門医の更新要件および連動更新の運用について、外科系サブスペシャルティ学会と共に検討した。
- ・外科専門医制度および日本専門医機構との契約に則り、外科専門医を認定し、指導医を選定し、認定登録医を登録し、指定施設と関連施設を指定した。
- ・外科専門医の筆記試験（予備試験）を CBT 方式で実施し、認定試験を文書審査によって実施した。
- ・外傷講習会を eラーニングで配信し、また、日本外傷診療研究機構、日本 Acute Care Surgery 学会、日本腹部救急医学会、日本外傷学会などの協力を得て、専攻医の外傷の修練を強化した。

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰（定款第4条第6号）

- ・Surgery Today の優秀論文賞（Best Surgery Today Award）を表彰した（10名）。
- ・Surgery Today の Citation Award を表彰した（6名）。
- ・Surgical Case Reports の優秀論文賞（Best Case Reports Award）を表彰した（9名）。
- ・Surgery Today と Surgical Case Reports のそれぞれの Best Reviewer Award を表彰した（Surgery Today：7名/Surgical Case Reports：5名）。
- ・第124回定期学術集会のビデオ演題のうち、優秀な演題を「最新手術シリーズ」としてビデオライブラリーに収載して、制作補助費を支給した（11名）。
- ・「日本外科学会臨床研究助成」（JSS Clinical Investigation Project Award）を選考し、補助金を支給した（1名）。
- ・「若手外科医のための臨床研究助成」（JSS Young Researcher Award）を選考し、補助金を支給した（5名）。
- ・National Clinical Database（NCD）を活用した臨床研究の助成を検討すると共に、複数領域に跨る NCD データを利活用した臨床研究を行う場合の調整窓口を務めた。

⑦生涯学習活動の推進（定款第4条第7号）

- ・eラーニングのシステムの共同利用を外科系サブスペシャルティ学会と共に検討した。
- ・40歳以下の若手会員（U-40）を中心として、若手外科医のリクルートの検討や、教育ビデオ（スキマ動画）を作成した。

⑧外科診療に関する情報や指針の提供（定款第4条第8号）

- ・National Clinical Database（NCD）に参加し、外科症例登録のデータベース事業に協力した。
- ・関連学会と協働して、「臨床医学の教育研究における死体解剖のガイドライン（Guidelines for Cadaver Dissection in Education and Research of Clinical Medicine）」に基づく Cadaver Surgical Training（CST）の普及を図ると共に、新しい体制の構築に向けて新たな

な法人の設立を検討した。

- ・AMED 採択の研究課題「手術支援ロボットを用いた遠隔手術の実現に向けた実証研究」を行った。
- ・日本医学会連合と協働して、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響を検証した。
- ・大規模イベントやマスギャザリングに外傷外科チームを派遣する TSAT (Trauma Surgical Assistant Team；外傷外科手術派遣隊) を設置した。

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発（定款第 4 条第 9 号）

- ・広報活動として、参加体験型の市民講座「オペスル」を開催し、終了後に Web でアーカイブ配信を行った。
- ・公式 SNS で周知・広報活動を行った。

⑩医療政策に関する建議（定款第 4 条第 10 号）

- ・外科系学会社会保険委員会連合（外保連）に参加し、外科技術料に関する適正な診療報酬についての調査収集と、その結果を元にした関係官庁などへの要望書提出に協力した。
- ・「医療事故調査・支援センター」（日本医療安全調査機構）の支援団体として、死因の調査分析事業に協力した。
- ・「学会認定・臨床輸血看護師制度協議会」に協力した。
- ・厚生労働省の「医療の効率化に向けた領域別タスクシフト推進事業」の実施団体として、外科医の労働環境の改善に向けたタスクシフトの普及を図るため、「外科医のための看護師の特定行為研修修了者活用ガイド」を作成した。
- ・厚生労働省の医師の働き方改革における集中的技能水準（C-2 水準）の審査に協力した。
- ・NCD データを基に、新たな外科の医療提供体制についての検討を開始した。

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業（定款第 4 条第 11 号）

- ・役員の選任を行った。
- ・代議員の選挙制度の見直しを検討した。
- ・会員管理システムのリプレイスを進めた。
- ・財務の健全化に向けた検討を行った。
- ・医学生や研修医のリクルートを目的とした Future Surgeons Club (FSC) を設置して、検討を行った。
- ・日本外科学会のブランディング化を検討した。

令和6年度事業報告 附属明細書

①会員の研究発表会，学術講演会等の開催の明細

・第124回日本外科学会定期学術集会の明細

日時：令和6年4月18日～20日（アーカイブ配信：5月下旬～8月31日）

場所：愛知県国際展示場（愛知県常滑市）

参加者数：16,508名 演題数：3,114題

テーマ：「わが国の資源で持続可能な外科診療を考える—Surgical Development Goals—」

②機関誌，論文図書等の刊行の明細

・学会誌「日本外科学会雑誌」の発行の明細

発行年月日	巻	号	発行部数
令和6年 3月1日	125	2	9,530
令和6年 5月1日	125	3	9,860
令和6年 7月1日	125	4	9,880
令和6年 9月1日	125	5	9,820
令和6年11月1日	125	6	9,820
令和7年 1月1日	126	1	9,880

・Official Journal「Surgery Today」の発行の明細

発行年月日	巻	号
令和6年 2月1日	54	2
令和6年 3月1日	54	3
令和6年 4月1日	54	4
令和6年 5月1日	54	5
令和6年 6月1日	54	6
令和6年 7月1日	54	7
令和6年 8月1日	54	8
令和6年 9月1日	54	9
令和6年10月1日	54	10
令和6年11月1日	54	11
令和6年12月1日	54	12
令和7年 1月1日	55	1

・Case Report 誌「Surgical Case Reports」の発行の明細

発行年月日	巻
令和6年 2月1日	9
令和6年 3月1日	9
令和6年 4月1日	9
令和6年 5月1日	9
令和6年 6月1日	9
令和6年 7月1日	9
令和6年 8月1日	9

令和6年 9月1日	9
令和5年 10月1日	9
令和5年 11月1日	9
令和6年 12月1日	9
令和7年 1月1日	10

③内外の関係学術団体との連絡及び提携の明細
特になし

④外科学に関する研究及び調査の明細

- ・標準手術ビデオの作成の明細（5名）
宇山 一郎（藤田医科大学先端ロボット・内視鏡手術学講座）
「“Double bipolar method”によるロボット支援小彎郭清先行アプローチによる胃癌手術」
- 湊谷 謙司（京都大学大学院心臓血管外科学）
「胸腹部大動脈手術における病変の展開法（Straight Incision with Rib-Cross：SIRC）」
- 大塚 将之（千葉大学大学院臓器制御外科学）
「肝門部領域胆管癌に対する肝左三区域切除＋尾状葉切除＋胆管切除・再建」
- 井本 滋（杏林大学医学部乳腺外科）
「早期乳癌におけるラジオ波焼灼療法」
- 奥山 宏臣（大阪大学大学院小児成育外科）
「先天性横隔膜ヘルニアに対する胸腔鏡下手術～Tension Free Repair～」

⑤外科専門医の育成と専門医制度の運用の明細

- ・外科専門医の認定総数：25,103名（うち日本専門医機構認定：2,893名）
- ・外科専門医の新規認定：759名（うち日本専門医機構新規認定：713名）
- ・外科専門医の更新：3,736名（通常更新：2,159名，サブスペシャリティとの連動更新：1,577名）
- ・認定登録医の移行：249名
- ・外科専門医の特例更新：58名
- ・外科専門医の特例更新（認定登録医への移行）：19名
- ・認定登録医の特例更新：26名
- ・外科専門医の移行：22名
- ・認定登録医の更新：353名
- ・指導医の選定：394名
- ・指導医の更新：1,253名
- ・指導医の再選定：32名
- ・指定施設の指定：1,170施設
- ・関連施設の指定：949施設

⑥研究の奨励と優秀な業績の表彰の明細

- ・Surgery Todayの優秀論文賞（Best Surgery Today Award）の明細（10名）

一般・小児分野：石丸 哲也（東京大学医学部附属病院小児外科）

「Risk factors for postoperative anastomotic leakage after repair of esophageal atresia : a retrospective nationwide database study」

一般・小児分野：肥田 侯矢（京都大学消化管外科）

「The degree of satisfaction and level of learning in male and female surgical residents : a nationwide questionnaire survey of graduating residents in Japan」

上部消化管：佐々木 章（岩手医科大学附属病院外科）

「Risk model for mortality associated with esophagectomy via a thoracic approach based on data from the Japanese National Clinical Database on malignant esophageal tumors」

下部消化管：村田 悠記（名古屋大学大学院医学系研究科腫瘍外科学）

「Impact of combined resection of the internal iliac artery on loss of volume of the gluteus muscles after pelvic exenteration」

呼吸器分野：大石 久（東北大学加齢医学研究所呼吸器外科学分野）

「Prognostic factors for lung transplant recipients focusing on age and gender : the Japanese lung transplantation report 2022」

呼吸器分野：山本 高義（千葉県がんセンター呼吸器外科）

「Thrombus formation at the stump of the pulmonary vein after lobectomy : a prospective multi-institutional study」

乳腺・甲状腺分野：木本 真緒（三重大学医学部附属病院乳腺センター）

「Long-term course of the changes in the nipple position after breast-conserving surgery」

心臓血管分野：山中 勝弘（神戸大学大学院医学研究科外科学講座心臓血管外科学分野）

「Japanese single-center experience of abdominal aortic aneurysm repair over 20 years : should open or endovascular aneurysm repair be performed first?」

肝胆膵・移植分野：高島 順平（帝京大学医学部附属溝口病院外科）

「Development of an artificial portal vein using bioabsorbable polymers」

肝胆膵・移植分野：伊藤 大介（東京大学医学部附属病院）

「Assessment of liver function-related mRNA expression and fluorescence imaging in outflow-obstructed regions in rats」

・ Surgery Today の Citation Award の明細（6 名）

小西 孝明（東京大学医学部附属病院）

「Validity of operative information in Japanese administrative data : a chart review-based analysis of 1221 cases at a single institution」

木下 淳（金沢大学附属病院）

「Current status of conversion surgery for stage IV gastric cancer」

海老原裕磨（北海道大学病院）

「Tele-assessment of bandwidth limitation for remote robotics surgery」

森山 仁（虎の門病院分院）

「Prognostic impact of CEA/CA19-9 at the time of recurrence in patients With gastric cancer」

徳永 正則（東京医科歯科大学）

「Impact of COVID-19 on gastric cancer treatment in Japanese high-volume centers : a JCOG stomach cancer study group survey」

諸橋 一（弘前大学医学部附属病院）

「Social implementation of a remote surgery system in Japan : a field experiment using a newly developed surgical robot via a commercial network」

・Surgical Case Reports の優秀論文賞（Best Surgical Case Reports Award）の明細（9名）

岩川 陽介（愛媛県立中央病院）2022

「Four cases of gastric adenocarcinoma and proximal polyposis of the stomach treated by robotic total gastrectomy 70」

澤山 浩（人吉医療センター）2022

「Pathologic complete response after laparoscopic surgery following treatment with nivolumab and ipilimumab for anticancer drug-resistant MSI-high descending colon cancer : a case report and literature review 223」

常光 良介（高知医療センター）2023

「Two cases of unresectable hepatocellular carcinoma treated via atezolizumab and bevacizumab combination therapy 93」

田上 聖徳（鹿児島大学医学部附属病院）2022

「Multidisciplinary treatment of advanced or recurrent solid pseudopapillary neoplasm of the pancreas : three case reports 7」

武井 祐介（獨協医科大学医学部大学病院）2023

「Transcatheter aortic valve-in-surgical aortic valve for a patient with repeated healed endocarditis : a case report 155」

苗代 絢子（春日部市立医療センター）2022

「Salvage surgery following immuno-chemo-radiotherapy for advanced non-small cell lung cancer 17」

豊中 亮介（東京都立大塚病院）2022

「A case of breast squamous cell carcinoma following breast augmentation with liquid silicone injection after 16 years 22」

河島 茉澄（広島大学病院）2022

「Successful salvage of torsion testis by means of intraoperative indocyanine green fluorescence imaging 152」

宮下 遼平（信州大学医学部附属病院）2023

「Importance of intraoperative indocyanine green imaging in the management of non-occlusive mesenteric ischemia : a case report 31」

・Surgery Today の Best Reviewer Award の明細（7名）

岡田 健次（神戸大学大学院医学系研究科 外科学講座・心臓血管外科）

播本 憲史（群馬大学医学部附属病院）

藤田 文彦（久留米大学外科学講座）

森川 孝則（宮城県立がんセンター）

岡本 龍郎（国立病院機構 別府医療センター 呼吸器外科）

- 佐野 厚（東邦大学医療センター佐倉病院）
 塩野 知志（山形大学医学部第2外科）
- ・Surgical Case Reports の Best Reviewer Award の明細（5名）
 栢分 秀直（神戸市立医療センター中央市民病院呼吸器外科）
 福井 高幸（愛知医科大学医学部外科学講座呼吸器外科）
 中西 良太（九州大学病院）
 藤井 正和（北海道大学大学院医学院 消化器外科学教室 II）
 小西 博貴（京都府立医科大学）
 - ・最新手術シリーズの授賞者の明細（11名）
 野間 和広（岡山大学消化器外科学）
 「ロボット支援食道癌手術 213 例の経験から見る中短期成績の検討」
 高山 伸（国立がん研究センター中央病院乳腺外科）
 「早期乳癌に対するラジオ波焼灼療法—標準的手技—」
 向井 俊貴（がん研有明病院大腸外科）
 「局所再発直腸癌に対する鏡視下手術手技の定型化と治療成績」
 刑部 弘哲（東京医科大学消化器・小児外科学分野）
 「腭頭部癌におけるロボット支援腭頭十二指腸切除術の新たなアプローチ法—Multifaceted SMA Approaches—」
 服部 憲史（名古屋大学消化器外科）
 「潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘・回腸嚢による再建術—回腸嚢肛門吻合を安全に行うために—」
 森本 守（名古屋市立大学消化器外科）
 「胆道癌へのロボット手術の適応拡大とその展望」
 藤井 善章（名古屋市立大学消化器外科）
 「既存アプローチのメリットを融合させたロボット支援結腸切除の手術手技と短期成績」
 横田 満（倉敷中央病院外科）
 「直腸癌に対するロボット他臓器合併切除の工夫と短期成績」
 白川 靖博（広島市立広島市民病院外科）
 「ロボット支援食道癌手術におけるトラブルシューティングに対するわれわれの工夫」
 舩岡 裕雄（隈病院外科）
 「術中神経モニタリング装置（Intraoperative neural monitoring：IONM）を駆使した甲状腺切除の手術手技」
 萩原 一樹（山梨県立中央病院高度救命救急センター）
 「腹壁閉鎖困難な OAM 症例における当院での腹壁閉鎖の工夫」
 - ・「日本外科学会臨床研究助成」（JSS Clinical Investigation Project Award）の授賞者の明細（1名）
 波多野悦朗（国立大学法人京都大学肝胆膵・移植外科）
 「切除可能 Clinical N0 肝内胆管癌に対するリンパ節郭清の意義を検証するランダム化比較試験」
 - ・「若手外科医のための臨床研究助成」（JSS Young Researcher Award）の授賞者の明細（5名）

良元 俊昭（徳島大学消化器・移植外科）

「青色光による消化器癌薬剤耐性解除及び、光と制癌剤の相乗効果に関する研究」

山中 崇寛（千葉大学医学部附属病院呼吸器外科）

「肺移植後の慢性拒絶反応に対する免疫チェックポイント機構を応用した新規免疫寛容の誘導」

湯川 恭平（九州大学大学院消化器・総合外科）

「肝細胞癌微小環境における癌抑制性癌関連線維芽細胞と薬剤感受性との関連」

田代 恵太（防衛医科大学校外科学講座）

「Exosome を介した癌細胞，癌関連線維芽細胞，免疫細胞の Crosstalk の解明」

保坂 到（札幌医科大学心臓血管外科）

「血管三次リンパ組織の形成と機能に着目した変性性腹部大動脈瘤拡大機序の解明」

⑦生涯学習活動の推進の明細

特になし

⑧外科診療に関する情報や指針の提供の明細

特になし

⑨国民に対する外科医療の情報提供の啓発の明細

・第 50 回市民講座「オベスル」の明細

開催日：令和 6 年 11 月 17 日（日）

会 場：日本科学未来館（東京都）

参加者数：639 名

テーマ：「ほんもので学ぼう！触れる手術室」

⑩医療政策に関する建議の明細

特になし

⑪その他前条の目的を達成するために必要な事業の明細

特になし